

Title: Proposal to add three ideographs for Japanese place names to UAX #45
Author: Tsukada Masaki
Status: Individual contribution
Action: For consideration by UTC
Date: 2025-10-05

1. Introduction

This document proposes to add three ideographs 「碮」「森」「魴」 to UAX #45.
 These ideographs are found in Japanese place name.

2. Proposed Ideographs

| SN | Glyph | IDS | RS | TS | FS | kJapanese | Evidence |
|----|-------|-----|--------|----|----|-----------|------------|
| 1 | 碮 | 𠄎投石 | 112.7 | 12 | 1 | なげ | Fig. 1-7 |
| 2 | 森 | 𠄎米糶 | 119.12 | 18 | 4 | ひとぎ | Fig. 8-11 |
| 3 | 魴 | 𠄎魚久 | 195.3 | 14 | 3 | ひさ | Fig. 12-15 |

The record of USourceData.txt is following:

```
UTC-00nnn;FutureWS;;;112.7;;𠄎投石;UTCDoc L2/25-nnn;kJapanese なげ;12;1
UTC-00nnn;FutureWS;;;119.12;;𠄎米糶;UTCDoc L2/25-nnn;kJapanese ひとぎ;18;4
UTC-00nnn;FutureWS;;;195.3;;𠄎魚久;UTCDoc L2/25-nnn;kJapanese ひさ;14;3
```

The attached TTF files u2ff1-u6295-u77f3.ttf, u2ff1-u7c73-u25e6b.ttf and u2ff0-u9b5a-u4e45.ttf provides the representative glyphs for adding to the UTChan.ttf TrueType font.

3. Brief introduction

碮 is used only for bridge name called 「逆碮橋」 (さかなげばし : saka-nage-bashi) at 愛媛県大洲市菅田町菅田.
 “Nage” is a local dialect word for river structures built of piled stones.

森 is used only for place name called 「森瀬」 (ひとぎぜ : hitogi-ze) at 大分県竹田市大字拝田原.
 Because it was an unencoded character, current official documents transcribe it as 「ヒトギ瀬」.

魴 is used only for place name called 「魴網代」 (ひさあじろ : hisa-a-jiro) at 長崎県五島市三井楽町高崎.
 More recently, records exist of its use in 2006 (平成18年) by the municipality to which it belongs.

4. Evidences

The evidences is provided on the following pages.

Figure 1: 『愛媛県百科大事典 下 - 国立国会図書館デジタルコレクション』

Author 愛媛新聞社 編

Publisher 愛媛新聞社

Publication Date 1985.6

<https://dl.ndl.go.jp/pid/12194508/1/177>

昭和初期における県の土木には新進気鋭の技術者がひしめいており、その人たちは互いによきライバルとして技術研さんの題材を橋の設計に求め、広く県下に個性のあふれる名橋を残している。当時かけられた橋の共通する特性は、県下の大河川に長大橋（橋長一〇〇以上の橋）を相次いで架設していることである。それらの中の代表的なものに鋼橋として肱川水系の大川橋・長浜大橋があり、鉄筋コンクリート橋としては、同水系の大和橋・逆塔橋・坊屋敷橋・鹿野川大橋等があり、重信川水系では中川原橋・横河原橋・出合橋がある。また加茂川水系の加茂川大橋、仁淀川水系では落出大橋、関川水系の関川大橋、広見川水系では大門橋・奈良川橋などが挙げられる。長浜大橋は跳開式可動橋として全国的に

近世期

第二次世界大戦の終結した昭和二〇年から今日に至る四〇年
間を近世期とする。

終戦後旧内務省の解体とともに誕生した建設省から、本県の
初代土木部長として赴任してきた池本泰児は、県民の生活基盤
となる道路網の復旧に日夜努力した。そのころ、池本の後輩で
終戦まで大阪市役所に奉職し、同市内の名橋の設計者として著
名な江戸良三を礼を尽くして本県に迎えた。江戸は県下を一巡
し、当時致命的被害をうけていた肱川水系の流失橋（祇園大橋、
富士橋、逆磐橋、鹿野川大橋、坊屋敷橋）の復旧、続いて広見
川水系（三島橋、川上橋、天神橋）を手がけ、最後に県下一の
長大橋重信大橋を昭和二五年に完成するなどの実績を挙げた。
戦後のセメント、鋼材など資材に乏しい時で、旧軍資材の払
い下げや、占領軍の放出資材の調達など苦労も多かった。

Figure 3: 『愛媛県史 県政 - 国立国会図書館デジタルコレクション』

Author 愛媛県史編さん委員会 編

Publisher 愛媛県

Publication Date 1988.11

<https://dl.ndl.go.jp/pid/9776234/1/233>

の設置へ発展していった。

災害復旧

終戦後新生の県土木部は昭和二十一年三月誕生した。県土復興の懸案が山積する中、二十一年九月の県会では肱川・重信川改修に関する意見書が採択され、水害に当面した実情が浮き彫りにされた。これと並行して災害により寸断された道路網の復旧、特に主要河川で流失・倒壊した橋梁の復旧が復興の主眼となった。

初代土木部長池本泰二は、高名な橋梁技術者江戸良三(温泉郡川内町出身)を県に迎え入れ、県下の被害橋梁の本格的復旧に踏み切った。肱川水系の祇園大橋、富士橋・逆磐橋・坊屋敷橋・鹿野川大橋など、また広見川水系では天神橋・三島橋・川上橋な

に肥沃な土が畑地にもたらされていた。徳島県の旧吉野川の日出家（ひじや）も、ほぼ直角に蛇行している地点のため、ヒジとは曲り角とも解釈されている。しかし、土質は水を含むとベタベタしたような性質をもっている。日出家の場合は、①曲り角、②疲地土、と両方に解釈されるが、一般的にはヒジ土のたまっているところか、流出するところをいうのではあるまいか。

ヒジ土の多いところは、支持力・粘着力ともに乏しいので、河川構造物等を構築した場合沈下ということが多く、肱川の場合、樋門本体が折損、胸壁の特殊堤防が傾くなどの現象が多くみられた。今は補修されている。

ところが、江戸中期ごろに構築された磬（ナゲル）水制のことは、依然として昔日の姿をとどめている。菅田の逆磬、米津の鍵磬、その他等は河床に木工沈床が埋め込まれているという。その上に構築したものは壊れにくいようである。その他、四万十川

Figure 5: 『市政 38(12)(449) – 国立国会図書館デジタルコレクション』

Author 全国市長会 [編]

Publisher 全国市長会館

Publication Date 1989-12

<https://dl.ndl.go.jp/pid/2711750/1/73>

●大洲「逆磐橋」オープン
昭和六十二年以来進められていた「逆磐橋架
替工事」がこのほど完成、記念事業が行われ
た。この橋は、幅員が狭い上に老朽化が激し
いため、架替工事が行われていたもの。記念
事業には、市長はじめ地元関係者五〇〇人が
通りぞめをして橋の完成を祝った。

さなげ 逆塔橋

本橋は、菅田五郎停車場線の肱川に架かる旧橋の架け替え工事として、愛媛県大洲市菅田町大字菅田に架設された3径間連続鉄桁橋である。愛媛県より昭和63年9月に受注し、平成元年6月に竣工した。

主要諸元

| | |
|------|---------------------------------|
| 形式 | 3径間連続非合成鉄桁 |
| 橋長 | 129.48 m (39 m + 50.6 m + 39 m) |
| 幅員 | 車道 7.25 m 歩道 2.5 m |
| 総鋼重 | 252 t |
| 主要鋼材 | SS 41, SM 50 Y |
| 架設工法 | トラッククレーンベント工法 |

特長

本橋は、景観重視の観点より主桁下フランジのみ放物線形状とした。このため、主桁の腹板高は1.1 m~2.3 mの変断面で構成されている。架設においては旧橋と平行に架設されるメリットを生かし、旧橋上よりトラッククレーンにより架設を行った。

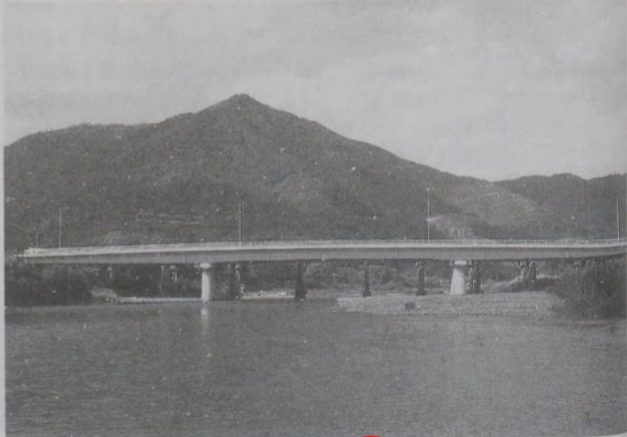


図13-11 **逆塔橋** (橋梁鉄構事業部)

44

Figure 7: 『河川流域の生活文化：昭和を生き抜いた人々が語る (地域文化調査報告書；平成6年度) - 国立国会図書館デジタルコレクション』

Publisher 愛媛県生涯学習センター

Publication Date 1995.3

<https://dl.ndl.go.jp/pid/13212758/1/176>

4 碇とダムに見る治水

ふるさとの母なる川は、流域の人々にとっては、かけがえのない水源であると同時に、幼いころからのくらしの舞台でもあった。しかし、これまでみてきたように、一度暴れだすと手が付けられぬ怖い存在であった。河川流域でくらす人々は、生命・財産の流失という恐怖を抱きながら、「川との緊張した関係」が続いた。ようやく昭和20年代から本格的な防災工事が行われ、平和で豊かなくらしができるようになったのである。

ここでは、護岸から姿を消しつつある碇(水制)の姿を追い、ダム建設の手続きを明らかにし、河川改修、特に護岸工事は第2節にゆだねることにした。

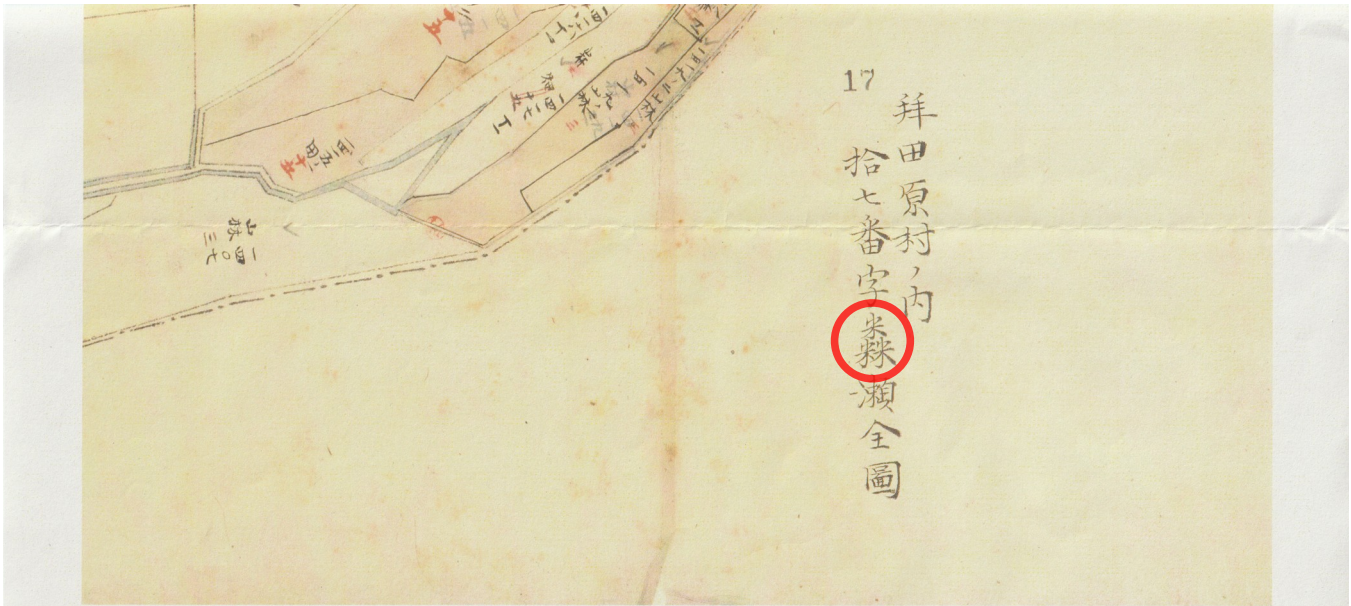
(1) 志碇と道碇

坂本栄太郎さん (大洲市中村 大正2年生まれ 81歳)

坂本さんを知るきっかけは『ジ・アース』の^⑩記事「水郷大洲の碇源流の森」である。彫刻家として紹介されているように、八幡浜のアトリエに通う毎日である。残念だったのは、道路拡張工事のため、150年を越える坂本家の旧家を取り壊されて、「かつては、坂本氏の家・庭・碇^⑪、肱川の流れの全てが一体であった。」という^⑫渡場の風景が見られぬことで

Figure 8: The old cadastral map (和紙公図), probably created during the Meiji era.

This is kept by the Taketa Branch Office of the Oita District Legal Affairs Bureau (大分地方法務局竹田支局). Furthermore, outside the map image, entries in katakana 「ヒトギ瀬」 can be seen.



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。

| | | | | | | | |
|------|----|---------------------|----|--------|--|--|--|
| 請求部分 | 所在 | 大分県 竹田市 大字拜田原 字ヒトギ瀬 | 地番 | 1419番1 | | | |
| 縮尺 | | 補記事項 | | | | | |

これは閉鎖された地図に準ずる図面の写しである。

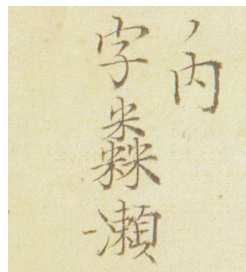


Figure 9: The old cadastre record (旧土地台帳) bearing the date 1949(昭和24年).

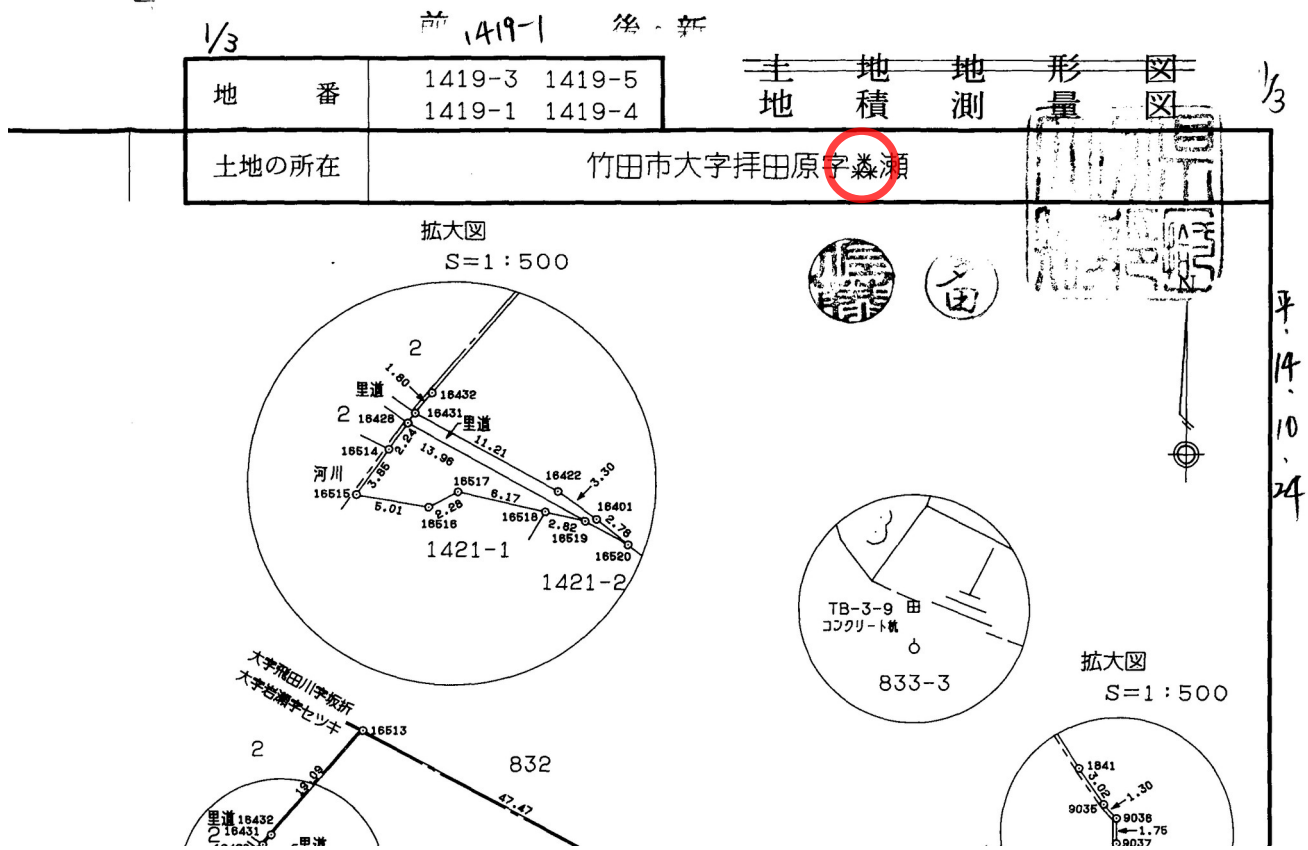
This is kept by the Taketa Branch Office of the Oita District Legal Affairs Bureau (大分地方法務局竹田支局). To protect privacy, the names of the landowners at the time have been concealed by me.

| 字 | | 地目 | | 地番 | | 沿革 | | 登記年月日 | | 等級 | |
|----|----|-----|----|----|----|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|
| 地租 | 地別 | 内歩 | 外歩 | 内歩 | 外歩 | 沿革 | 沿革 | 登記年月日 | 事故 | 所有主住所 | 所有主氏名 |
| 三 | 原野 | 三二四 | 三 | 三七 | 原野 | 昭和六年三月... | 昭和六年六月... | 昭和六年三月... | 昭和六年六月... | 三九 | 共有地 |
| 二 | 原野 | 二〇〇 | 二 | 二七 | 原野 | 昭和六年三月... | 昭和六年六月... | 昭和六年三月... | 昭和六年六月... | 三九 | 共有地 |
| 一 | 原野 | 一〇〇 | 一 | 一七 | 原野 | 昭和六年三月... | 昭和六年六月... | 昭和六年三月... | 昭和六年六月... | 三九 | 共有地 |

Figure 10: The parcel area survey map (地積測量図) prepared in 2002(平成14年).

This drawing can be obtained from the Registry Information Service (登記情報提供サービス).

<https://www.1.touki.or.jp/>



字森瀬

Figure 11: 『豊後国荘園公領史料集成7下 (豊後国緒方荘・直入郷・入田郷・朽網郷史料)』
 渡辺澄夫編,別府大学史料叢書第1期 [1993.10, 別府大学附属図書館]
<https://oer.mc.beppu-u.ac.jp/oa/bungo-souen.html>

| 岩 <small>いわ</small> 19 瀬 <small>せ</small> | 拝田 <small>はいだ</small> 12 原 <small>ばる</small> | 飛田 <small>ひだ</small> 11 川 <small>がわ</small> |
|--|---|---|
| ヒ <small>ひ</small> キサ <small>キサ</small> バ <small>バ</small> 、 ジ <small>ジ</small> ヤ <small>ヤ</small> ウ <small>ウ</small> カ <small>カ</small> ハ <small>ハ</small> 、 セ <small>せ</small> ツ <small>ツ</small> キ <small>キ</small> 、 ツ <small>ツ</small> ル <small>ル</small> 、 イ <small>い</small> ワ <small>ワ</small> セ <small>セ</small> 、 ツ <small>ツ</small> ツ <small>ツ</small> イ <small>イ</small> ノ <small>ノ</small> ウ <small>ウ</small> ソ <small>ソ</small> 、 ワ <small>わ</small> タ <small>タ</small> 、 ヲ <small>お</small> タ <small>タ</small> | 崩 <small>くず</small> 岩 <small>れいわ</small> 、 鳥 <small>とり</small> 越 <small>ごえ</small> 、 山 <small>やま</small> 下 <small>した</small> 、 拜田 <small>はいだ</small> 原 <small>ばる</small> 、 上 <small>うえ</small> 嵩 <small>だけ</small> 、 上 <small>かみ</small> 津 <small>ず</small> 留 <small>る</small> 、 阿 <small>あ</small> 荒 <small>あら</small> 牧 <small>ま</small> 界 <small>き</small> 、 八 <small>やど</small> 所 <small>ころ</small> 、 深 <small>ふか</small> 瀬 <small>せ</small> 、 水 <small>すい</small> 戸 <small>とう</small> 、 森 <small>み</small> 瀬 <small>せ</small> | 荻 <small>おぎ</small> 原 <small>わら</small> 、 一 <small>ひと</small> 木 <small>つき</small> 、 塩 <small>しお</small> 付 <small>つき</small> 、 下 <small>しも</small> 津 <small>ず</small> 留 <small>る</small> 、 古 <small>ふる</small> 屋 <small>や</small> 、 山 <small>さん</small> 王 <small>のう</small> 、 坂 <small>さか</small> 田 <small>た</small> 原 <small>ばる</small> 、 瓜 <small>うり</small> 尾 <small>ゆう</small> 、 橋 <small>はし</small> 本 <small>もと</small> 、 瀬 <small>せ</small> 口 <small>ぐち</small> 、 岩 <small>いわ</small> 木 <small>き</small> 、 荒 <small>あら</small> 平 <small>へら</small> 、 新 <small>しん</small> 手 <small>で</small> 、 騎 <small>き</small> |

Figure 12: 『長崎県公報 平成16年08月01日 号外 号外2』

The Nagasaki Prefectural Gazette is published based on the Nagasaki Prefectural Gazette Publication Regulations (Nagasaki Prefectural Regulation No. 1 of 1961) and includes ordinances, regulations, instructions, notices, and announcements.

https://nagasaki-dc.iri-project.org/bulletin/20040801_ex2

| | | | |
|--------|----------|------|----------|
| 脇山 | 濱ノ畔郷脇山 | 小脇山 | 濱ノ畔郷小脇山 |
| 砂連平 | 濱ノ畔郷砂連平 | 桃名 | 濱ノ畔郷桃名 |
| 猪ウジ | 濱ノ畔郷猪ウジ | 穴ノ本 | 濱ノ畔郷穴ノ本 |
| 橋ノ本 | 濱ノ畔郷橋ノ本 | 山田平 | 濱ノ畔郷山田平 |
| 桐ノ木 | 濱ノ畔郷桐ノ木 | 宇戸ノ上 | 濱ノ畔郷宇戸ノ上 |
| 横山 | 濱ノ畔郷横山 | 垣詰 | 大川郷垣詰 |
| 丑泊 | 大川郷丑泊 | 鋤投 | 大川郷鋤投 |
| 大野 | 大川郷大野 | 馬込 | 大川郷馬込 |
| 栈敷松 | 大川郷栈敷松 | 大川 | 大川郷大川 |
| 魚見嶽 | 大川郷魚見嶽 | 越木戸 | 高崎郷越木戸 |
| 魔ノ地 | 高崎郷魔ノ地 | 鮎網代 | 高崎郷鮎網代 |
| 持場山 | 高崎郷持場山 | 濱ノ上 | 高崎郷濱ノ上 |
| 五島高来 | 高崎郷五島高来 | 高崎波奈 | 高崎郷高崎波奈 |
| 古田 | 柏郷古田 | 廣野 | 柏郷廣野 |
| 野畑 | 柏郷野畑 | 木戸ノ本 | 柏郷木戸ノ本 |
| 持場山 | 柏郷持場山 | マノウジ | 柏郷マノウジ |
| 割地ノ下 | 柏郷割地ノ下 | 五島高麗 | 柏郷五島高麗 |
| 山内 | 柏郷山内 | 立山見 | 柏郷立山見 |
| 柏波奈 | 柏郷柏波奈 | 名切 | 柏郷名切 |
| 新ノ口 | 柏郷新ノ口 | 椎河地 | 柏郷椎河地 |
| 看場 | 柏郷看場 | 蛇ノ股 | 柏郷蛇ノ股 |
| 大葉ノ木 | 柏郷大葉ノ木 | 宮山 | 柏郷宮山 |
| 組屋敷 | 柏郷組屋敷 | 波戸ノ本 | 柏郷波戸ノ本 |
| 池ノ本 | 柏郷池ノ本 | 下番床平 | 柏郷下番床平 |
| 上番床ノ平 | 柏郷上番床ノ平 | 新村 | 柏郷新村 |
| 針口 | 柏郷針口 | 椿原 | 柏郷椿原 |
| 長仁田 | 柏郷長仁田 | 台場ノ上 | 柏郷台場ノ上 |
| 本浦 | 柏郷本浦 | 高ヶ倉 | 柏郷高ヶ倉 |
| 馬込 | 柏郷馬込 | 古賀倉 | 嶽郷古賀倉 |
| 新村 | 嶽郷新村 | 中手 | 嶽郷中手 |
| 竹口 | 嶽郷竹口 | 竹本 | 嶽郷竹本 |
| ハリイケノ元 | 嶽郷ハリイケノ元 | 松本 | 嶽郷松本 |
| 中村 | 嶽郷中村 | 藤古場 | 嶽郷藤古場 |

鮎網代

高崎郷鮎網代

Figure 13: 『平成18年4月計画策定 五島農業振興地域整備計画 別記 農用地利用計画』

This is part of the document that defines the agricultural land area in 五島市.

https://www.city.goto.nagasaki.jp/s059/010/010/020/100/File/011_3_14.pdf#page=68

| | | | |
|------|----|------|---|
| 三A-3 | 高崎 | 越木戸 | 358 379-3 383-1 |
| | | 魔ノ池 | 392-1 394-1 394-3 395-1 396-1 398-1 405-2 406-1 408-3 411-1 412 413-1 413-2 415-1 415-2 416 417-1 417-2 418 419 422-1 426-7 427-2 428-1 429 430-1 430-2 431 432-1 435-1 |
| | | 魚久網代 | 439 441-1 442-1 445-1 445-3 445-5 446-1 446-3 447-1 447-4 448-3 449-1 452-1 453-1 456-1 457 459 468-1 468-4 468-6 470-1 470-2 470-8034 472 479 481 484-2 485-2 488-3 491-2 |
| | | 持場山 | 494-1 505-1 507-2 510-1 536-1 542-2 542-4 542-5 |
| | | 浜ノ上 | 560-1 568-3 569-1 573-1 573-3 578 579 580-1 580-2 580-4 582-2 587-1 587-3 588-1 588-3 589-1 599 600 601-1 602 605 |
| | | 五島高来 | 606-1 610-1 617-2 619 620-1 623-1 632-1 635 639 641 642-1 644-2 646-1 646-2 647 648-1 649-1 650-1 650-2 655 656 657 658 659-1 660-1 660-2 674-1 |
| | | 高崎波奈 | 全部 686-2~696-1 |

魚久網代

Figure 14: 『官報 1910年06月04日 - 国立国会図書館デジタルコレクション』

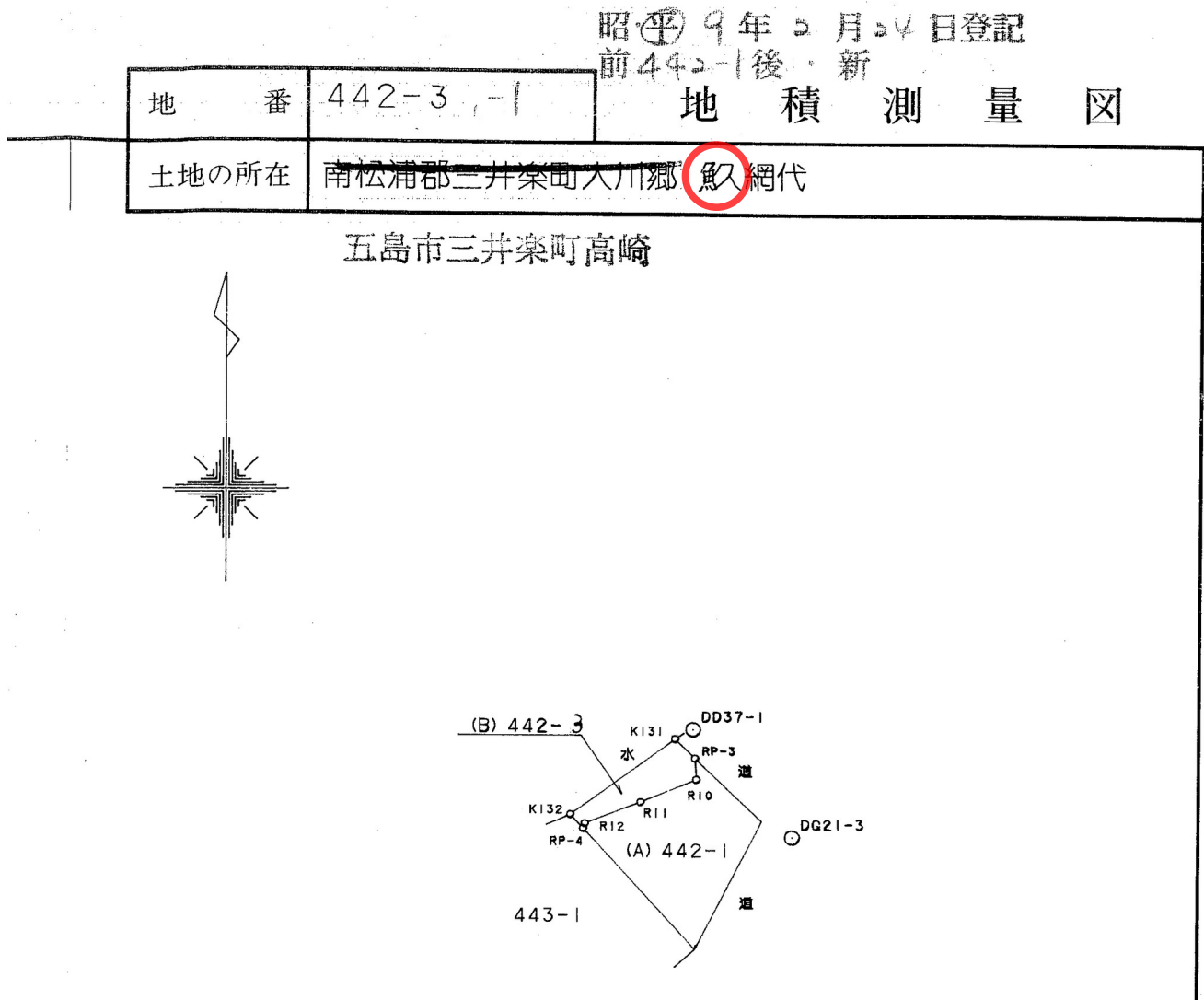
Author 大蔵省印刷局 [編]
Publisher 日本マイクロ写真
Publication Date 明治43年
<https://dl.ndl.go.jp/pid/2951436/1/12>

同 上 字 鋤 投 八 三 番 ノ 四 國 有 原 野
 一 見 込 面 積 十 五 步
 第 九 四 四 號
 同 上 字 鋤 投 八 三 番 ノ 一、八 四 番 ノ 一 國
 一 見 込 面 積 六 畝 步
 第 九 四 五 號
 同 上 字 鯨 網 代 四 三 六 番 ノ 一 國 有 原 野
 一 見 込 面 積 二 畝 步
 第 九 四 六 號
 同 上 字 大 野 一 四 三 番 國 有 原 野
 一 見 込 面 積 四 畝 步
 第 九 四 七 號
 同 上 字 大 川 二 六 五 番 ノ 一 國 有 原 野

Figure 15: The parcel area survey map (地積測量図) prepared in 1997(平成9年).

This drawing can be obtained from the Registry Information Service (登記情報提供サービス).

<https://www1.touki.or.jp/>



魚網代